

加納啓良教授 略歴・主要著作目録

平成24年 3 月

加納啓良教授 略歴

- 1948年 3月 東京都北多摩郡西府村（現府中市）にて出生
1960年 3月 調布市立調布第三小学校卒業
1963年 3月 東京教育大学附属駒場中学校卒業
1966年 3月 東京教育大学附属駒場高等学校卒業
1966年 4月 東京大学教養学部文科二類入学
1968年 4月 東京大学経済学部経済学科進学
1970年 3月 同 卒業
1971年 4月 アジア経済研究所に就職（調査研究部に配属）
1980年10月 東京大学東洋文化研究所南アジア部門助教授
1991年 6月 同 教授
2012年 3月 定年により退職

客員・非常勤その他

- 客員研究員 ガジャマダ大学農村・地域開発研究センター（財団法人国際文化会館・社会科学国際フェローシップによる）
アムステルダム大学人類学・社会学研究センター（同上）
インドネシア大学日本研究センター（国際協力事業団派遣専門家として）
- 非常勤講師 埼玉大学教養学部・東京大学教養学部・東京外国語大学外国語学部・津田塾大学国際関係学科・千葉大学政経学部・亜細亜大

学国際関係学部

特任教授 インドネシア大学

共同研究員 北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

受賞歴

発展途上国研究奨励賞（アジア経済研究所，1979年6月）

アジア太平洋賞特賞（毎日新聞社，アジア調査会，1989年11月）

加納啓良教授 主要業績リスト

著書

『パダラン——東部ジャワ農村の富と貧困』 アジア経済研究所 1979 xi + 202 p.

『揺れる多島国家——スハルト体制の15年』 教育社入門新書 時事問題解説シリーズ 1979 183 p.

『サワハン——「開発」体制下の中部ジャワ農村』 アジア経済研究所 1981 iv + 242 p.

『インドネシア農村経済論』 勁草書房 1988 316 p.

Pagelaran: Anatomi Sosial Ekonomi Pelapisan Masyarakat Tani di Sebuah Desa Jawa Timur. Yogyakarta: Gadjah Mada University Press, 1990, xviii + 195 p.

『インドネシア繚乱』（文春新書163） 文藝春秋 2001 220 p.

『インドネシアを齧る——知識の幅をひろげる試み』 めこん 2003 274 p.

『現代インドネシア経済史論——輸出経済と農業問題』 東京大学出版会 2004 xiv + 376 p.

Indonesian Exports, Peasant Agriculture and the World Economy 1850-2000: Economic Structures in a Southeast Asian State. Singapore: NUS Press, 2008, xix + 421p.

『概説 東南アジア近現代史——政治・経済の歩み』 めこん 2012(近刊予定)

共編著

『東南アジア現代史——民族自立への模索』（滝川勉氏らと共著）有斐閣 1982

『中部タイ稲作農村の経済変容』（山田三郎氏らと共著）東京大学東洋文化研究所 1986

『中部ジャワ農村の経済変容——チョマル郡の85年』（編著）東京大学東洋文化研究所および東京大学出版会 1994 ix+478p.

Di Bawah Asap Pabrik Gula: Masyarakat Desa di Pesisir Jawa Sepanjang Abad Ke-20 (coedited with Frans Hüsken and Djoko Suryo). Yogyakarta: Gadjah Mada University Press, 1996, x + 313 p.

『東南アジア農村発展の主体と組織——近代日本との比較から』（編著）アジア経済研究所 1999 256p.

Beneath the Smoke of the Sugar Mill: Javanese Coastal Communities during the Twentieth Century (coedited with Frans Hüsken and Djoko Suryo). Yogyakarta: AKATIGA and Gadjah Mada University Press. 2001, xxii + 313 p.

『岩波講座 東南アジア史6 植民地経済の繁栄と凋落』（編著）岩波書店 2001 xi + 341 p.

Growing Metropolitan Suburbia: A Comparative Sociological Study on Tokyo and Jakarta (ed.), Center for Japanese Studies University of Indonesia Monograph in Japanese Studies Social and Cultural Series, No.1/2004. Jakarta: Yayasan Obor, 2004, xii + 276 p.

Kamus Ilmu-Ilmu Sosial Bahasa Jepang, Edisi Pertama (A Dictionary of Social Sciences for Japanese Studies in Indonesia, First Edition). Depok, Center for Japanese Studies University of Indonesia, 2005, xix + 509p.

Local Autonomy in Metropolitan Suburbia: A Comparative Case Study of Indonesia and Japan (coedited with Dody Prayogo). Depok, Center for Japanese

Studies University of Indonesia, 2006, xi + 260p.

『インドネシア検定——ASEAN 検定シリーズ インドネシア検定公式テキスト』
(監修・執筆) めこん 2010 vii + 244 p.

論文

「インドネシアの協同組合運動」滝川勉・斎藤仁編『アジア諸国の協同組合』
アジア経済研究所 1973 p. 177-218.

「植民地期インドネシアの村落経済——ブーケとブルヘルの所説をめぐって」
『アジア経済』15-4 1974 p. 57-70.

「デサ共同体に関する一考察——『現地人土地権調査最終提要』を素材に」『ア
ジア研究』22-4 1976 p. 34-58.

“Land Tenure System and the Desa Community in Nineteenth-Century Java,”
IDE Special Paper No.5. Tokyo: Institute of Developing Economies, 1977, 40 p.

「ジャワ農村調査ノート——目的と方法」『アジア経済』19-2 1978 p. 85-95.

「ジャワ農村経済史研究の視座変換——『インボリユーション』テーゼの批判
的検討」『アジア経済』20-2 1979 p. 2-26.

“The Economic History of Javanese Rural Society: A Reinterpretation,” *The
Developing Economies*, 16-1, 1980, p. 3-22.

「農業問題の中部ジャワ的構造——ジョクジャカルタ特別区の事例に即して」
『アジア経済』21-4 1980 p. 2-19, 21-5 1980 p. 47-59.

「ジャワ糖業史研究序論」『アジア経済』22-5 1981 p. 68-92.

「低開発経済論の一視角——ブーケ『二重経済』論の批判的検討」『歴史学研究』
497 1981 p. 48-55, 61.

「ジャワ稲作農業の地域構造——1920年と1977年の生産統計比較」『東京大学東
洋文化研究所紀要』87 1981 p. 171-247.

「ダゲン——イスラーム・カルヤワンの村の社会経済構造」東京大学経済学部

『経済学論集』47-3 1981 p.48-74.

「対外依存化進むインドネシア」『経済評論』31-2 1982 p.63-75.

“Employment Structure and Labor Migration in Rural Central Java: A Preliminary Observation,” *The Developing Economies*, 19-4, 1982, p. 248-366.

「インドネシアにおける『土地なし』農村世帯の存在形態」滝川勉編『東南アジア農村の低所得階層』アジア経済研究所 1982 p.77-114.

「ジャワ農村調査覚え書き——階級関係と地域構造」東京大学東洋文化研究所『東洋文化』63 1983 p.63-94.

「『二重経済』と『農業インボリューション』を超えて——『農民的自給生産』再考」東京大学東洋文化研究所『東洋文化』64 1984 p.5-44.

「ジャワ農民農業の地域的差違とその変容——二つの収穫面積統計の比較検討」『東京大学東洋文化研究所紀要』96 1984 p.53-103.

“Sistem Pemilikan Tanah dan Masyarakat Desa di Jawa pada Abad XIX”, Sediono Tjondronegoro and Gunawan Wiradi (eds.), *Dua Abad Penguasaan Tanah: Pola Penguasaan Tanah Pertanian di Jawa dari Masa ke Masa*. Jakarta: PT Gramedia, 1984, p. 26-85.

「非植民地化過程における国家と農民——インドネシア農地法制の展開 1945-56年」滝川勉編『東南アジアの農業変化と農民組織——序説的考察』アジア経済研究所 1985 p.107-138.

「長期統計から見たジャワ農業の変容 1916-80年」『アジア経済』26-12 1985 p.25-45.

“Sejarah Ekonomi Masyarakat Pedesaan Jawa: Suatu Interpretasi Kembali”, Akira Nagazumi (ed.), *Indonesia dalam Kajian Sarjana Jepang: Perubahan Sosial-ekonomi Abad XIX & XX dan Berbagai Aspek Nasionalisme Indonesia*. Jakarta: Yayasan Obor Indonesia, 1986, p. 11-41.

「1970年代インドネシアの農業問題——米作を中心に」アジア低開発地域農業

- 研究会編『第三世界農業の変貌』勁草書房 1986 p. 31-50.
- 「オランダ植民地支配下のジャワ糖業——1920年代を中心に」『社会経済史学』
51-6 1986 p. 139-157.
- 「インドネシアにおける稲作技術変化と農村社会の変容——ジャワを中心に」
滝川勉編『東南アジアにおける農業技術変革と農村社会』アジア経済研究
所 1987 p. 49-90.
- 「インドネシアの政治体制と行政機構」萩原宜之・村嶋英治編『ASEAN 諸国の
政治体制』アジア経済研究所 1987 p. 23-52.
- “The Long-Term Development of Farm Agriculture in Java: A Rice Economy”, T.
Suzuki and R. Ohtsuka (eds.). *Human Ecology of Health and Survival in
Asia and the South Pacific*. University of Tokyo Press, 1987, p. 93-110.
- 「財政から見たインドネシアの国家と地方」『アジア経済』29-2 1988 p. 95-
105.
- “Tanah dan Buruh Dalam Pertanian di Malang Selatan: Kasus Pagelaran,” *Jurnal
Ilmu-Ilmu Sosial*, 1-1. Malang: Pusat Pengembangan Ilmu-Ilmu Sosial,
Universitas Brawijaya, 1988, p. 13-32.
- “Indonesian Business Groups and Their Leaders,” *East Asian Cultural Studies*,
28-1~4, 1989, p. 145-172.
- 「アジアの食料・農業問題と協同組合事情——インドネシア編 米作の変貌・
その明と暗」『協同組合経営研究月報』431 1989 p. 39-44.
- 「ジャワ村落史の検証——ウンガラン郡の事例」『東京大学東洋文化研究所紀要』
111 1990 p. 33-129.
- 「共同体の思想——ジャワ村落論の系譜」土屋健治編『東南アジアの思想』講
座東南アジア学6 弘文堂 1990 p. 17-53.
- 「東部ジャワ農村の土地と労働——パグララン村再調査から」(梅原弘光編『東
南アジアの土地制度と農業変化』アジア経済研究所 199 p. 227-250.

- 「アジア域内交易と東南アジア植民地支配」浜下武志・川勝平太編『アジア交易圏と日本工業化1500-1900』リプロボート 1991 p. 51-67.
- 「『地代』制度導入期ジャワ農村の『耕作者』像——マラン県『詳細査定簿』の分析」『東京大学東洋文化研究所紀要』118 1992 p. 1-41.
- 「チョマル・プロジェクト——日蘭イ三国共同による現代ジャワ農村史の総合研究」『東南アジア——歴史と文化』21 1992 p. 161-180.
- 「ジャワ村落と導入期『地代』制度——東部ジャワ・マラン県における展開」石井米雄ほか編著『東南アジア世界の歴史的位相』東京大学出版会 1992 p. 135-152.
- “The Reorientation of Indonesia’s Centralized Budgetary System”, *The Developing Economies*, 30-4, 1992, p. 377-403.
- 「2001年のジャワ農村経済——歴史的趨勢の観察から」『アジア研究』39-2 1993 p. 27-34.
- 「中部ジャワ農村経済の構造変容——サワハン区再調査から」梅原弘光・水野広祐編『東南アジア農村階層の変動』アジア経済研究所 1993 p. 89-117.
- 「ジャワのヨーマンリー？——農民甘蔗作発展史序説」秋元・廣田・藤井編『市場と地域——歴史の視点から』日本経済評論社 1993 p. 83-110.
- 「近代アジアの社会変容——ジャワ、台湾の糖業を事例として」土屋健治編『講座現代アジア1 ナショナリズムと国民国家』東京大学出版会 1994 p. 111-146.
- 「農民革命の政治社会学——東南アジアからの試論」坂本義和編『世界政治の構造変動3 発展』岩波書店 1994 p. 87-148.
- “Landless Pesant Households in Indonesia”, T. Shiraishi (ed.). *Approaching Suharto’s Indonesia from the Margins*. Ithaca: Cornell University Press, 1994, p. 43-73.
- 「インドネシア農業における土地制度」国際農林業協力協会『インドネシアの

農林業——現状と開発の課題 1994年版』 1994 p. 53-62.

「国際貿易から見た20世紀の東南アジア植民地経済——アジア太平洋市場への包摂」『歴史評論』 539 1995年3月号 p. 39-55.

「『フロンティア』とジャワニサシ」文部省科学研究費補助金「重点領域研究」編『総合的地域研究』 8 京都大学東南アジア研究センター 1995年3月 p.3-9.

「貧困問題」『国際協力概論——地球規模の課題』国際協力事業団国際協力総合研修所 1995 p. 30-50.

“Sentralisme Keuangan dan Prospek Pembangunan Daerah Otonom di Indonesia”, Didik J. Rachbini et al. *Negara dan Kemiskinan di Daerah*. Jakarta: Pustaka Sinar Harapan, 1995, p. 120-135.

「農業の変容」安中章夫・三平則夫編『現代インドネシアの政治と経済——スハルト政権の30年』アジア経済研究所 1995 p. 273-317.

「ジャワ農村の屋敷地と農家経済」長谷川善計・江守五夫・肥前榮一編『家・屋敷地と霊・呪術』早稲田大学出版会 1996 p. 276-298.

「インドネシアの官僚制——公務員制度を中心に」岩崎育夫・萩原宜之編『ASEAN 諸国の官僚制』アジア経済研究所 1996 p. 5-46.

「植民地期ジャワの地租制度」水野広祐・重富真一編『東南アジアの経済開発と土地制度』アジア経済研究所 1997 p. 45-80.

“Tanah dan Pajak, Hak Milik dan Konflik Agraria: Tinjauan Sejarah Perbandingan”, Noer Fauzi (ed.). *Tanah dan Pembangunan*. Jakarta: Pustaka Sinar Harapan, 1997, p. 29-45.

「植民地期インドネシアの貿易統計 1909年～1923年——相手国別品目別データの編纂」一橋大学経済研究所中核的拠点形成プロジェクト Discussion Paper No.D 97-26, 1997 66 p.

「揺籃期ジャワ農村の村落と『耕作者』——バンギル県『詳細査定簿』の分析」

『東京大学東洋文化研究所紀要』136 1998 p.167-225.

「インドネシアの食料事情・農業事情」全農林労働組合『農村と都市をむすぶ』
569 1999年1月号 p.18-26.

「ジャワの耕地共有制度とその解体過程」杉島敬志編『土地所有の政治史——
人類学的視点』風響社 1999 p.429-441.

「オンライン情報とテキストファイル・データベース——インドネシア政治経
済動向分析における活用」東京大学東洋文化研究所『東洋文化』79 1999
p.107-127.

「インドネシア総選挙——新社会への試金石——メガワティ対ハビビの構造鮮
明に」『世界』1999年8月号 p.186-193.

「インドネシア総選挙」拓殖大学海外事情研究所『海外事情』1999年10月号 p.
2-11.

「ジャワ型稠密社会の形成——移動・拡散から固着・凝集へ」坪内良博編『地
域形成の論理』京都大学学術出版会 2000 p.25-53.

「植民地期の蘭印・英印貿易関係——蘭印側統計からの観察」(東京大学東洋文
化研究所『東洋文化』82 2002 p.47-76.

「『開発』の時代とその終焉」東京大学東洋文化研究所編『アジア学の将来像』
東京大学出版会 2003 p.333-353.

“De-agrarianization in Rural Java: The Case of Comal District, Indonesia”,
Hiromitsu Umehara (ed.) *Agrarian Transformation and Areal Differentiation
in Globalizing Southeast Asia* (Proceedings of RU-CAAS Symposium held at
Rikkyo University on November 1-2, 2002). Tokyo, Rikkyo University Centre
for Asian Area Studies, March 2003, p. 27-45.

「世界の砂糖生産と貿易——二〇世紀中の推移」『季刊 [あっと]』7号 2007
年4月刊 p.44-54.

「20世紀アジアにおける砂糖、米、コーヒー——生産・貿易統計による序説的

- 「経済史的考察」東京大学東洋文化研究所『東洋文化』88 2008 p.3-48.
- 「インドネシアの砂糖, 米, コーヒー, 茶——長期統計で見る生産と輸出入の推移」東京大学東洋文化研究所『東洋文化』88 2008 p.123-144.
- 「植民地期インドネシアのコーヒー農園——データベースの構築と分析」(大澤篤と共著『東京大学東洋文化研究所紀要』153 2008 p.149-180.
- “The Oils Production in Insular Southeast Asia: From a Viewpoint of Comparative Economic History”. Paper presented at the joint seminar *Asian Societies and Cultures in the Eyes of Bruneian and Japanese Researchers* held by the Faculty of Arts and Social Sciences, University of Brunei Darussalam and the Institute of Oriental Culture, University of Tokyo, on 17 Sep. 2008 at Tokyo.
- “Development of Palm Oil Production in Malaysia and Indonesia after the Decolonization of Plantation Industry”. Paper presented at the the joint workshop *Dialogue on Southeast Asia* held by the Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore and the Institute of Oriental Culture, University of Tokyo, on 25 September 2009 at Tokyo.
- “Agricultural Involution’ and ‘Deagrarianization’ in Rural Southeast Asia: A View from Case Study in Indonesia”. Tsuyoshi Kato and Aysun Uyar (eds.), *The Question of Poverty and Development in Conflict and Conflict Resolution*, Proceedings of the Fourth Afrasian International Symposium, 15-16 November 2008, Afrasian Centre for Peace and Development Studies, Ryukoku University, Kyoto, 2009, pp. 27-37.
- “Agricultural Involution, Deagrarianization and Labour Surplus in Contemporary Rural Java”. Huub de Jonge and Toon van Mijl (eds.), *On the Subject of Labour: Essays in Memory of Frans Hüsken*. Nijmegen: In de Walvis, Oct. 2010, p. 96-100.
- 「東南アジア・プランテーション産業の脱植民地化と新展開——インドネシア

とマレーシアのアブラヤシを中心に」『東京大学東洋文化研究所紀要』158
2010 p. 221-252.

「アジアの経済発展と東南アジア・プランテーション産業の今」『地理教育研究
所論集』15 地理教育研究会 2011 p. 3-10.

小文・評論

「経済」綾部恒男・永積昭編『もっと知りたいインドネシア』弘文堂 1982 p.
229-252.

「農村から見たインドネシア」『いまアジアを考える III』三省堂選書131 1986
p. 113-140.

「インドネシアの農村社会と生活」『高校通信 東書地理』254 1985

「インドネシア通信 『開発』の帰趨と古都の変貌」『高校通信 東書地理』280
1988

「地理随想——インドネシアの農村再調査から」『高校通信 東書地理』289
1989

「地理随想 村の歴史を探検する——インドネシアの調査から」『高校通信 東
書地理』297 1989

「日本・インドネシア経済関係の構造と NGO 交流の課題」INGI 神奈川シンポ
ジウム実行委員会編『“開発”をひらく——草の根から見たインドネシア
の開発と日本』日本インドネシア NGO ネットワーク 1993 p. 5-24.

「ジャワの労働人口の将来——労働力」宮崎・山下・伊藤編『暮らしがわかる
アジア読本 インドネシア』河出書房新社 1993 p. 248-252.

「増えた自動車」宮崎・山下・伊藤編『暮らしがわかるアジア読本 インドネシ
ア』河出書房新社 1993 p. 252-254.

「『海派』の思い出」アジア経済研究所『アジ研ニュース』151 1994

「フィールドワークの現在10 チョマルプロジェクト ジャワ農村のフィールド

- ドワーク」『UP』（東京大学出版会）255 1994 p. 23-30.
- 「ジャワ農村史の国際共同研究」日本学術振興会『学術月報』47-6, 通巻594
1994 p. 51-56.
- 「政治と経済」（の経済に関する部分）綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたい
インドネシア 第2版』弘文堂 1995 p. 234-260.
- 「農民——インドネシア語の petani をめぐって」文部省科学研究費補助金「重
点領域研究」編『総合的地域研究』14, 1996/9, 京都大学東南アジア研究セ
ンター, p. 34-35.
- 「インドネシアの経済危機——通貨・金融不安と国際協調支援」日本インドネ
シア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』25, 1997年12
月
- 「出口の見えない経済危機」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネ
シア・ニュースレター』26, 1998年3月
- 「Kata-Kata Singkatan インドネシア語の略語あれこれ 第1回 PPP」同上
- 「どうなる？インドネシア 深まる経済・社会危機——スハルト退陣後の情勢」
日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』
27, 1998年7月
- 「数字が語るインドネシア——勤労者最低生活費（KHM）」日本インドネシア
NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』28, 1998年10月
- 「Kata-Kata Singkatan インドネシア語の略語あれこれ 第3回 Sembako」同上
- 「米の自給と農業政策」『国境なき時代の台所から 見えない構図——グローバ
リゼーション』オルター・トレード・ジャパン, 1999年4月, p. 48-56.
- 「検証・1999総選挙——野党勝利への構図」日本インドネシア NGO ネットワー
ク『インドネシア・ニュースレター』31, 1999年7月
- 「ジャワの水田とサトウキビ」精糖工業会『季刊糖業資報』141, 1999年6月,
p. 24-28.

「インドネシア総選挙」『成蹊大学アジア太平洋研究センター・ニュースレター』
1999年7月号

「インドネシア総選挙と日本」『朝日新聞』1999年8月3日夕刊

「インドネシアの新政権と将来展望」在インドネシア JICA 派遣専門家協議会
『CEISIA NEWS』1999年11月号, p. 1-6.

「インドネシアの新政権と将来展望」日本インドネシア NGO ネットワーク『イ
ンドネシア・ニュースレター』33, 1999年12月

「日本研究支援と首都郊外住宅都市の比較社会調査」『CEISIA NEWS』1999
年12月号, p. 10-14.

「不良債権と BLBI 問題」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・
ニュースレター』34, 2000年3月

「東南アジア経済圏統計資料コレクション」東京大学附属図書館『図書館の窓』
39-5, 2000年10月

「議論のひろば——村落開発とインドネシア農村の変貌」アジア社会問題研究
所『アジアと日本』321, 2000年10月

「MPR 総会 憲法改正と内閣改造：第2幕に入ったグス・ドゥル政権」日本イ
ンドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』36,
2000年12月

「混迷するインドネシア政局 グス・ドゥルは追いつめられたか」日本インド
ネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』37, 2001年
3月

「窒息するレフォルマシ MPR 総会に向かうインドネシア政局」日本インド
ネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』38, 2001年7
月

「数字が語るインドネシア 人口センサスに見る社会変動」同上

「少人数化するインドネシアの家庭」全国社会福祉協議会『月刊福祉』2001年

9月号

「グス・ドゥルからメガワティへ——政権交代の事実経過と意味」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 39, 2001年

10月

「ジャカルタと東京——近郊住宅地の比較社会学」東京大学東洋文化研究所編 『アジアを知れば世界が見える』 小学館 2001 p. 342-352.

「アブドゥッラー 『アブドゥッラー物語』」岡本さえ編著 『アジアの比較文化——名著解題』 科学書院 2003 p. 95-97.

「ラッフルズ 『ジャワ誌』」同上 p. 245-248.

「ウォーレス 『マレー諸島』」同上 p. 263-266.

「『民族紛争』の跡地を訪ねて——西カリマンタン調査日誌から」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 46, 2003年12月

「国会選挙 主要政党得票率の増減 1999年との比較」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 49, 2004年6月

「第1次正副大統領選挙の得票率分析」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 50, 2004年11月

「マレーシアのインドネシア人不法就労者問題」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 52, 2005年5月

「カタカタ・シンカタン～PILKADA～」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 52, 2005年5月

「総選挙委員会汚職事件の全貌」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 53, 2005年9月

「Jerebu——マレーシアの煙害とスマトラの野焼き」日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 54, 2005年11月

「膨張する郊外都市——ジャカルタ首都圏デポック市での観察」(1) 日本イン

ドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 56, 2006年5月

「膨張する郊外都市——ジャカルタ首都圏デポック市での観察」(2) 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 57, 2006年8月

「中部ジャワ地震被災地集落訪問記——バントウル県サワハン集落」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 58, 2006年10月

「<おいしい！インドネシア>ソト・カディピロ」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 61, 2007年10月

「インドネシア発電事情」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 62, 2008年1月

「スハルト的観念？～プルナ・バクティ・プルティウィ博物館のことなど」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 63, 2008年5月

「消えた三線軌条」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 65, 2008年10月

「インドネシア国会（DPR）総選挙の結果とその意味」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 68, 2009年8月

「東カリマンタン赤道越えの旅」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 69, 2009年11月

「対立沈静化し、経済成長も好調——インドネシアの経済発展と構造的特徴」 政策研究フォーラム 『改革者』 597, 2010年4月

「拡大する中国とインドネシアの経済関係——貿易統計からの観察」 日本インドネシア NGO ネットワーク 『インドネシア・ニュースレター』 72, 2010年7月, p. 27-37.

- 「おいしい！インドネシア プラナカン料理はいかが」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』72, 2010年7月
- 「おいしい！インドネシア プチュル・マディウンとサテ・ポノロゴ」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』75, 2011年4月
- 「おいしい！インドネシア レストラン『トリオ』」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』76, 2011年8月
- 「インドネシアのコーヒー生産——20世紀初め以降の歴史と現状」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』77, 2011年10月
- 「インドネシア自動車産業小史」日本インドネシア NGO ネットワーク『インドネシア・ニュースレター』78, 2012年2月

翻訳

- ヤン・M・プルヴィーア『東南アジア現代史——植民地・戦争・独立』(上・下) 長井信一監訳 東洋経済新報社 1977 xvii+728+26 p.
- テー・キアン・ウィー編『インドネシアの経済』(村井吉敬, 水野広祐氏と共訳) めこん1984 363 p.
- ヘディ・シュリ・アヒムサ・プトラ『ベチャ引き家族の物語』(染谷臣道氏と共訳) 勁草書房 1988 323 p.

書誌・目録

- 『植民地雑誌 (*Koloniaal Tijdschrift*) 所収論文目録』(大木昌氏と共編) 東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター (東洋学文献センター叢刊第43輯) 1984 5+194 p.
- 『内務省雑誌 (*Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur*) 所収論文・記事目録』

東洋文化研究所紀要 第161冊

東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター（東洋学文献センター叢刊別輯13） 1985 4 + 161 p.

『東京大学東洋文化研究所所蔵田中則雄氏旧蔵書目録』（久礼克季氏と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター（東洋学研究情報センター叢刊1） 2002 7 + 89 p.

『東京大学東洋文化研究所所蔵滝川勉文庫目録』（河合由美子氏と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター（東洋学研究情報センター叢刊12） 2010 7 + 257 p.

書評

倉沢愛子『日本占領下のジャワ農村の変容』（草思社 1992）『アジア経済』 35-4, 1994, p. 65-68.

土屋健治『インドネシア——思想の系譜——』（勁草書房 1994）『アジア経済』 37-5, 1996, p. 101-104.

Chih-ming Ka, *Japanese Colonialism in Taiwan: Land Tenure, Development, and Dependency, 1895-1945* (Boulder, Colo., Westview Press, 1995) *The Developing Economies*, 35-2, 1997, p. 196-198.

杉原薫『アジア間貿易の形成と構造』（ミネルヴァ書房 1996）東京大学経済学部『経済学論集』 63-2, 1997, p. 79-81.

Jan Breman and Gunawan Wiradi, *Good Times and Bad Times in Rural Java: Case Study of Socio-economic Dynamics in Two Villages towards the End of the Twentieth Century* (Singapore, Institute of Southeast Asian Studies, 2002) 『アジア経済』 45-11&12, 2004, p. 165-169.

大橋厚子『世界システムと地域社会——西ジャワが得たもの失ったもの 1700 - 1830』（京都大学学術出版会 2010）『史学雑誌』 120-12 2011